



スマートディビジョンのステアリング以外には、センターコンソールにエアサスコントローラー、そして足下に PLX デバイスを装備。携帯ホルダーに iPod か iPhone をセットすれば、各種メーターや故障診断からコンディションを把握できる。



スポーツを感じさせるアクティブなフォルム

状況に合わせて車高を自在にアジャストすれば、スタイリッシュなスポーツシルエットが一層際立つ。実用性を犠牲にしないモディファイこそがサイレンズのポリシーなのだ。足下の AGIO SPORT SEVEN もスポーツマインドを加速させ、フェンダーに干渉しないセットアップも絶妙。30 プリウスの持つ魅力を最大限に引き出したカスタマイズだと言えよう。



エクステリアこそノーマルながら、U.S. パーティションのフロント&テールレンズやカーボンボンネットを一新。インパネを追加しノーマルフォルム本来のカットを十分に引き出している。



手で車高を自在に操る!

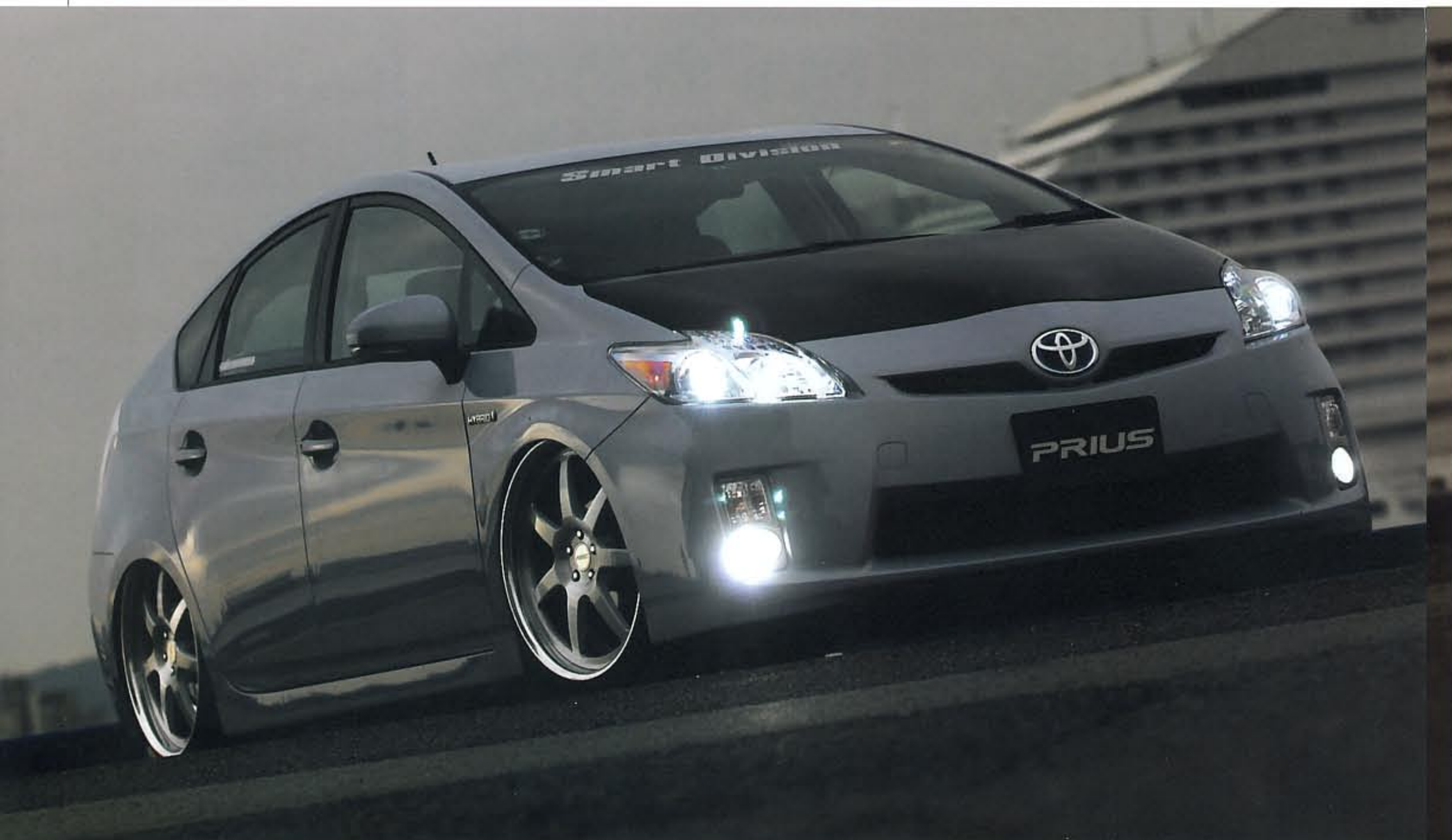
センターコンソールから延びるコントローラーで ACC エアランナーをスイッチング。タンク容量も大きく、4ch 制御だからレスポンスもきわめてクイックだ。

ACCのエアサスもいいし、AGIOのホイールもいい。でも H.I.D が切り拓く未来はもっといい!

プリウスの未来を照らす H.I.D 装着の理由と効果。



最近では珍しく心の底から「イジりたい!」と思わせてくれるプリウスは、まさにアフターマーケットでは希少な存在である。これはグレードごとの装備の違いが理由となっているのだが、なかでも注目されているのが H.I.D や LED といったランプ類だ。過激なスタイルに目を奪われてしまうが、ここも見逃せません!



30プリウスは動力性能もアップし、それに伴ってスポーティテイストを感じさせるアクティブなフォルムに変貌を遂げた。サイレンズではその近未来的なスポーツフォルムを洗練すると同時に、電子デバイスを中心としたモディファイで30プリウスの魅力を余すことなく引き出している。注目したいのはヘッドランプで、先進的とはいえずや光量の低いノーマルのLEDロービームとフォグランプをスマートのプリウス専用キットを使ってH.I.D化、これによって、なんと6H.I.Dを実現しているのだ。強烈なブルーのビームで闇夜を切り裂き、ナイトドライブの視界を確保すると同時に、夜間時におけるアビリティ度も大幅にアップ。またヘッドライトユニットとテールランプはもちろんU.S.バージョンに換装され、デイトイムでもひととき引き立つルックスをゲットしている。エアロは非装着ながらスマートディビジョンのカーボンボンネットを装着



暗闇を切り裂くビーム 6-HIDでアピールする

フロントとテールのランプ Assy を US パーティションへとスワップ。加えてノーマルのLEDロービームとフォグランプを全てスマートの専用キットでHID化。合計6本もの強烈なブルー・ビームで、ナイトドライブを俄然楽しいものに演出してくれる。もちろん、これで夜間のアピールもバッチリだ。

し、スポーツテイストを強調しているのもポイント。ホイールには2ピースのAGIOスポーツ・セブンを装着。サイズは20x8.5JでACCのエアランナーにより最適な車高をアジャストできるようなっている。日常使用に適した車高から魅せるスーパーローダウンポジションに至るまで、手元のコントローラーでまさに自由自在。インテリアに目を移すと、スマートディビジョンのオーダードレスステアリングの他にはエアサスコントローラーとPLXデバイスを装備する。注目したいのがPLXデバイスで、iPodやiPhoneのディスプレイにレブメーターや油温・水温をはじめとする各種メーター類、さらには故障診断まで表示できるという注目の先進アイテムなのだ。これらのコーデイネイトによって、30プリウスに相応しいサイレンズ独自のフューチャーカスタムが完成。プリウスの進化を期待させるクルマとなったのだ。